

B 選

日 本 史

日本史の問題は，【1】から【4】までである。

【1】 次の文章を読んで，下の問いに答えよ。

平安時代の初期に，唐で天台を学んだ ，密教を学んだ空海により，天台宗と真言宗が開かれ，天台宗でものちに入唐した円珍・円仁により密教が本格的に取り入れられた。両宗は，加持祈禱により現世利益がもたらされることを望む皇族・貴族たちの支持を集めた。また，山岳地に寺院が営まれ修行の地とされたことから，在来の山岳信仰と結びつき， の源流となった。こうしたなかで，神秘的な密教芸術が発展し，不動明王などの彫刻^イや，密教の世界観を描いた が製作された。

一方，仏法が衰え世の中が乱れる時代が訪れるとする が広がり，現世の不安から逃れ，極楽往生を願う浄土教も流行するようになる。10世紀には，空也が口称の念仏を民衆に広め， は『往生要集』を著わし，浄土念仏の思想を広めた。阿弥陀堂の建立や仏像の製作が盛んになり，仏像製作を効率化する の手法が完成した。仏が往生する人を迎えに来る場面を描いた もさかんに描かれた。

問1 文中の A ～ G の にあてはまる語句を書け。

問2 下線部 ア～ウに関する問いに答えよ。

ア が比叡山に開いた小堂は，その後何という寺院に発展したか書け。

イ このころの仏像は一つの木材を削り出して製作された。この技法を何と呼ぶか書け。

ウ 代表作である平等院鳳凰堂の阿弥陀如来像を製作した仏師の名を書け。

【2】 次の文章を読んで、下の問いに答えよ。

江戸時代の日本では、江戸・大坂・京都のそれぞれ特徴ある三つの都市が、「三都」と呼ばれた。

徳川家康はもともと三河国（現在の愛知県）を本拠としていたが、1590（天正18）年に が小田原に拠点を置く を攻略するのに参加した後、関東八国への国替えを命じられた。家康は、新たな領国の中核に、小田原でも源頼朝が幕府を置いた でもなく、江戸湾にのぞみ湿地帯が広がっていた江戸を選び、城と町の建設に着手した。のち、徳川家が幕府を開いたことで、江戸は都市としてより発展することになる。

幕府の三代将軍となった が定めた によって参勤交代を課せられた諸大名は、家臣ともなって江戸と領国を行き来した。武士の割合が多いというのが、江戸の人口構成の一つの特徴だった。

幕府は、江戸と全国各地を結ぶために、河川や海上の交通・運送の道の整備を進めるとともに、江戸と各地を結ぶ街道の整備をした。

大坂は、 が本願寺の跡地に大坂城を築いて町づくりを進めたことで、大きく発展した。 の没後、大坂城は1615（元和元）年に徳川家の攻撃によって破壊されたが、江戸幕府によって再建され、幕府は大坂を直轄地とした。

大坂は、淀川の下流にあって海と川の交通網が充実し、経済活動が非常に発展していた。瀬戸内海をとおって日本海岸各地から、また太平洋岸各地から米をはじめとする物資が運び込まれ、諸藩は大坂に年貢米や名産品を保管する を置いて売りさばいた。

京都は平安京以来の都市である。平安時代後半には、都市の中心は東へと移り、鎌倉幕府は京都での拠点である を、鴨川よりも東側の地に置いた。のちに足利尊氏が京都の室町に幕府を置いたが、15世紀の によって大きく荒廃する。その後、 が都市部を囲むように御土居を築いた。江戸時代の京都には、寺社が多く、天皇や公家が居住していた。幕府は1615年、朝廷に を認めさせ、押さえつけを図った。京都には、こうした長い歴史を背景として多くの文化財が今も残り、西陣の絹織物や京菓子など独自性のある製品を送り出している。

問1 文中の A ～ I の にあてはまる語句（人名は氏名）を書け。

問2 下線部 ア のうち、五街道の一つで、江戸と名古屋、京都を結ぶ街道を何というか書け。

問3 下線部 イ のような特徴から、大坂は何と呼ばれたか。次から選び、記号を書け。

- a 天下の博覧場
- b 天下の両替所
- c 天下の台所
- d 天下の遊覧所

B 選

問4 下線部 ウに関連して江戸時代の天皇や朝廷についての記述として正しいものを一つ選び、記号を書け。

- a 征夷大將軍の位は、天皇によって任命されていた。
- b 女性の地位向上が見られたこの時期、5名の女性が天皇となった。
- c 天皇家は南北の家系に分かれ、相互に交替で即位する慣習があった。
- d 荘園の多くを維持していたため、朝廷の経済力は幕府を上回っていた。

問5 下線部 エについて、京都に現存する文化財として正しいものを一つ選び、記号を書け。

- a 薬師寺の東塔（三重塔）
- b 聚楽第
- c 中尊寺の金色堂
- d 慈照寺銀閣

問6 下線部 オの西陣織や京菓子製造の背景には、長崎での海外貿易が関係していた。これについて次の問いに答えよ。

- (1) 西陣織の原料となったのは、主に中国（清国）産の糸だった。何という糸か書け。
- (2) オランダ船がもたらした砂糖の多くは、植民地であるジャワ島で栽培されたサトウキビから作られた。その植民地はどこか、現在の国名を書け。

【3】 次の文章を読んで、下の問いに答えよ。

幕末に欧米列強の武力による洗礼を受けた日本は、明治維新後急激な文明開化や富国強兵策に乗り出し、岩倉使節団を欧米諸国に派遣した。しかし留守政府は、使節団の留守中にも次々と改革を進めていった。留守中の1872（明治5）年、 A と新橋の間に日本初の鉄道が敷かれ、群馬県に官営模範工場の B が開業し、 C によって飛脚に代わる近代的な官営郵便制度も整備され、海運会社も開業した。また政府は、 D を発布して全国に小学校を設置して国民教育を普及し、国立銀行条例を公布して近代的金融制度の基礎をつくり、旧暦のこの年12月3日を1873（明治6）年1月1日とする E を採用した。

1873年1月には満20歳に達した男子に兵役を課す徴兵令が公布された。同年、副島種臣外務卿は清国に赴いて、日本・清国間の近代的条約である F の批准書を交換した。後に佐賀の乱を起こす司法卿 G は、条約改正の前提となる司法制度の急激な整備を進める一方、芸娼妓解放令を出して人身売買を禁止し、さらに権力の汚職を厳しく追及した。1872年の東京府下違式誑違条例公布の後、裸体や混浴が禁止されるなど日本人の生活風俗も変わっていった。このように、岩倉使節団留守中には多くの文明開化策や富国強兵策が実行されたのである。

またこのような改革と相まって、明治維新以来とどこおっていた朝鮮問題も紛糾するようになった。 H を朝鮮に派遣する閣議決定が覆され、政府が真っ二つに分裂する政変の背景に、このような維新後の急激な改革政策を指摘する声も少なからずある。

問1 文中の A ～ H の にあてはまる語句（人名は氏名）を書け。

問2 下線部 ア ～ キ に関する問いに答えよ。

ア イギリス人を殺傷した生麦事件の報復のために、1863（文久3）年、鹿児島（錦江）湾で起きた戦争を何というか書け。

イ この工場では女性労働力が原動力となった。この女性たちを何というか書け。

ウ このころ海運会社を経営し、後の三菱財閥の基礎を築いた土佐藩出身の人物の氏名を書け。

エ この年に初編が出版されてベストセラーになった福沢諭吉の著作物のタイトルを書け。

オ この条例に応じて第一国立銀行を設立した人物の氏名を書け。

カ 1871（明治4）年の散髪脱刀令のあと日本人のヘアスタイルも変わった。「 頭を叩いてみれば文明開化の音がする」と人々の口をにぎわせたヘアスタイルを何というか書け。

キ この政変を何というか書け。

B 選

【4】 次の史料とその説明文を読んで、下の問いに答えよ。

国家総動員法

第一条 本法ニ於テ国家総動員トハ戦時（戦争ニ準ズベキ事変ノ場合ヲ含ム以下之ニ同ジ）ニ際シ国防目的達成ノ為国ノ全カヲ最モ有効ニ發揮セシムル様人的及物的資源ヲ統制運用スルヲ謂フ

第二条 本法ニ於テ総動員物資トハ左ニ掲グルモノヲ謂フ

- 一 兵器、艦艇、弾薬其ノ他ノ軍用物資
- 二 国家総動員上必要ナル被服、食糧、飲料及飼料
- 三 国家総動員上必要ナル医薬品、医療機械器具其ノ他ノ衛生用物資及家畜衛生用物資
- 四 国家総動員上必要ナル船舶、航空機、車輛、馬其ノ他ノ輸送用物資
- 五 国家総動員上必要ナル通信用物資
- 六 国家総動員上必要ナル土木建築用物資及照明用物資
- 七 国家総動員上必要ナル燃料及電力
- 八 前各号ニ掲グルモノノ生産、修理、配給又ハ保存ニ要スル原料、材料、機械器具、装置其ノ他ノ物資
- 九 前各号ニ掲グルモノヲ除クノ外勅令ヲ以テ指定スル国家総動員上必要ナル物資

第三条 本法ニ於テ総動員業務トハ左ニ掲グルモノヲ謂フ

- 一 総動員物資ノ生産、修理、配給、輸出、輸入又ハ保管ニ関スル業務
- 二 国家総動員上必要ナル運輸又ハ通信ニ関スル業務
- 三 国家総動員上必要ナル金融ニ関スル業務
- 四 国家総動員上必要ナル衛生、家畜衛生又ハ救護ニ関スル業務
- 五 国家総動員上必要ナル教育訓練ニ関スル業務
- 六 国家総動員上必要ナル試験研究ニ関スル業務
- 七 国家総動員上必要ナル情報又ハ啓発宣伝ニ関スル業務
- 八 国家総動員上必要ナル警備ニ関スル業務
- 九 前各号ニ掲グルモノヲ除クノ外勅令ヲ以テ指定スル国家総動員上必要ナル業務

第四条 政府ハ戦時ニ際シ国家総動員上必要ナルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ帝国臣民ヲ徴用シテ総動員業務ニ従事セシムルコトヲ得、但シ兵役法ノ適用ヲ妨ゲズ

（以下略）

説明文

この法律は、第1次 内閣のもとで1938（昭和13）年の第73議会に提案、可決され、同年4月1日公布された。

上記の史料によれば、 とは、戦時（事変を含む）に際し「国防目的達成ノ為国ノ全カヲ最モ

B 選

有効に發揮せしむル様人的及物的資源ヲ統制運用スル」ことである（第1条）。「」とは、兵器・艦艇・弾薬その他のにとどまらず、に必要な被服・食糧・飲料および、医薬品、衛生用物資および衛生用物資、輸送用物資、通信用物資、土木建築用物資および照明用物資、燃料および電力、およびこれらの生産・修理・配給または保存に要する原料・材料・機械器具・装置その他の物資などをいう（第2条）。また、「」とはの生産・修理・配給・輸出入・保管に関わる業務だけでなく、に必要な運輸・通信、金融、衛生・衛生・救護、教育訓練、試験研究、情報・啓発宣伝、警備に関する業務などをいう（第3条）。さらに、第2条と第3条のそれぞれ第9号では、第1号から第8号までに掲げられたもの以外でも、に必要な物資・業務については、勅令により・に指定しうるものとしている。

また第5条以下では、上必要ならば、国民・団体などの協力、雇用の制限、労働争議の防止、物資の需給調整、輸出入の統制、物資・工場施設の使用・収容、物価統制、出版物の制限・禁止など、あらゆる面にわたる命令を、政府は議会の議決を必要としない勅令によって発令できるとした。議会は、国民の権利・自由を拘束するのは法律によるべきで、命令に委ねるのは立法権の無視であるという議論をめぐって難航したが、結局は軍の圧力もあってこの法律は成立した。

問1 説明文中のA～Gのにあてはまる語句（人名は氏名）を書け。

問2 下線部ア、イに関する次の問いに答えよ。

ア (1) 1937（昭和12）年に始まった、当時は「北支事変」「支那事変」と呼ばれた戦争を何と書け。

(2) この戦争の発端となった事件を何と書け。

イ 国家総動員法第4条にもとづき、政府は、国民を強制的にに従事させる制度を導入することを決定し、1939（昭和14）年7月に閣議決定を経て勅令を公布した。この勅令を何と書け。